SA88-6919-00

G76 17 型 カラー･モニター ユーザーズ･ガイド

日本語

第一版（1999 年 9 月）

特記事項

本書において、日本では発表されていない IBM 製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒 106- 0032 東京都港区六本木 3 丁目 2 － 31
AP 事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law &Licensing

商標

本書で使用されている以下の用語は、米国またはその他の国における IBM Corporation の商標またはサービス・マークです。

IBM　　HelpCenter

ENERGY STAR は米国の登録商標です。

高調波自主規制 届出装置の記述

この装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

お願い

本書の情報および、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず ii ページの『特記事項および商標』をお読みください。

原 典：G76 17 inch Color Display Monitor
発 行：日 本アイ・ビー・エム株式会社
担 当：ナ ショナル・ランゲージ・サポート

第 1 刷 1999.10

安全に正しくお使いいただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

絵表示について

本製品を正しくご使用いただいて、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよび本製品への安全表示については、以下の絵表示をしています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険／注意ラベルの表示について

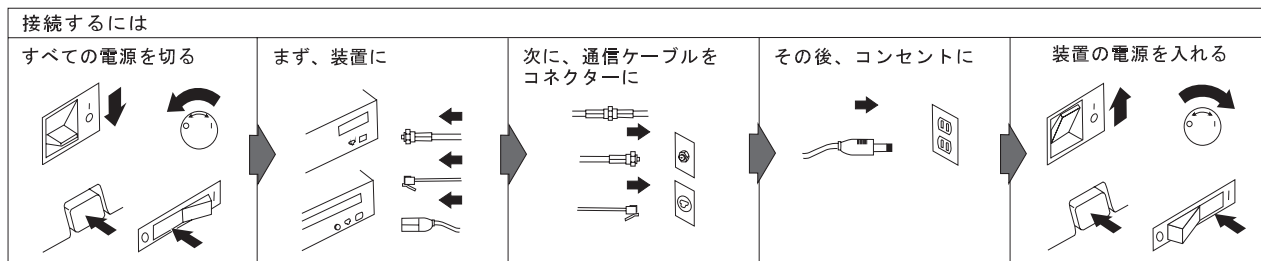
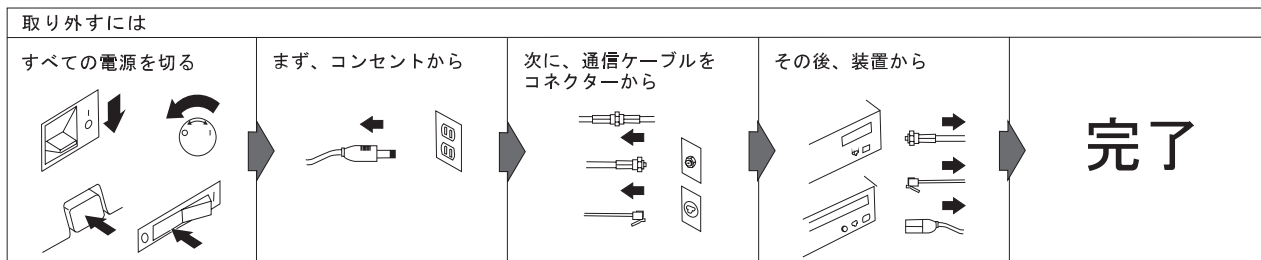
本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関しての危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

このマニュアルに記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示があるときは（たとえば製品上）、必ずラベル表示による指示に従ってください。

⚠危険

・この機器の中にある電源のカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
・この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
・付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
・電源スイッチやその他の制御部分をぬらさないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くことがあります。
・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
・コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、およびテレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
・万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

ケーブル類の取付け、取外し順序

電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取外しを行ってください。

電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。

電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

⚠ 注意

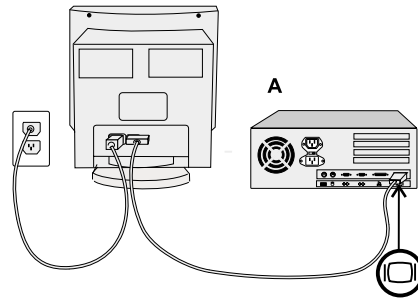
·電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
·湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
·この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
·本体を持ち上げたり、配置を変えたり、移動したりするときは、思わぬ怪我をしないように注意してください。重すぎるときは、2 人以上でおこなってください。
·付属のスタンドはこのディスプレイ専用で他のスタンドを使用することはできません。他のスタンドを使用すると、ディスプレイが不安定となり、機器の損傷または思わぬ怪我の原因になります。
·長期間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いておいてください。

セットアップ

重要 : モニターを接続する前に、コンピューターおよび接続されている装置の電源をオフにします。また、電源コンセントの電力がモニターの電源要件に適合していることを確認してください。詳細については、12 ページの「仕様」を参照してください。

モニターの接続

1. 2 シグナル・ケーブルをコンピューターの後ろにあるビデオ・ポートに接続します。このポートは、コンピューターに直接内臓されているか（図 A)、または、ビデオ・アダプター・カードの一部である場合（図 B）があります。
2. まず電源コードをモニターに接続し、次にプラグを正しく接地された電源コンセントにしっかり接続します。
3. モニターの電源を入れてから、コンピューターの電源を入れます。

モニターが正常に作動しない場合は、13 ページからの「 故障かな？と思ったら」を参照してください。

モニターの設置

モニターの設置場所
モニターの設置場所として適切な場所を選び、干渉の原因になる磁界を発生するデスクの蛍光灯などの機器の近くに設置しないでください。モニターを乗せる机や機器などは、モニターの重さを支えられることを確認してください。モニターの周りには少なくとも50mm の換気ができるスペースが必要です。

高さ
本機の前に座ったときに、画面の上部が目の高さより少し下になるように設置してください。

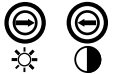
環境
照明や窓の反射がもっとも少ない場所、通常は窓に対して直角の位置を選びます。モニターは体をひねらなくても良いように正面に置きます。見るのにちょうど良い角度にモニターを傾けてください。

作業習慣

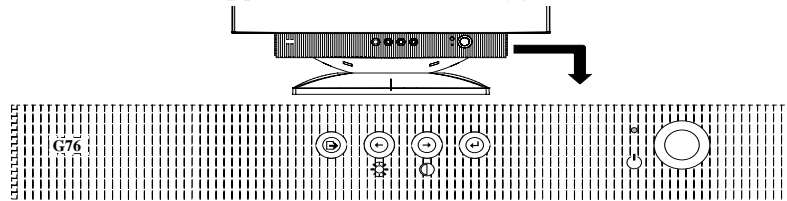
休息
規則的に休みをとってください。コンピューター・ワークステーションの長時間の使用は疲れます。姿勢を変え、ときどき立ってストレッチをしてください。

背中
椅子に深くかけて、背もたれを使用してください。

手
キーボードのキーは軽く押して、手や指をリラックスさせてください。タイプしないときは手首を休めるためのスペースをキーボードの手前にとってください。リスト・パッドの使用をお勧めします。

視力
モニターでの作業は、他の長時間眼を近づけて行う作業同様、眼に負担がかかります。スクリーンからときどき眼を離して遠くを見てください。また、定期的に眼の検査を受けてください。

スクリーンの設定
スクリーンの輝度とコントラストを快適なレベルに設定してください。日中は日照の変化に合わせて調整が必要になることもあります。多くのアプリケーション・プログラムでは、見やすいように色の組み合わせを選択できます。

画面の調整

オンスクリーン・ディスプレイ（OSD ）を使って明るさなどの画面調整ができます。

ボタン		説明
	電源スイッチ	モニターの電源をオン / オフにします。
	調整ボタン	オンスクリーン・ ディ スプレイ (OSD) メニューの調整をし ます。 輝度、コント ラスト の調整画面を 表示し ます。
	OSD/ 選択	オンスクリーン・ディスプレイの表示 / 調整アイコンの選択を行います。 OSD をロックして変更できないようにします。9 ページを参照。
	終了	メニュー / 調整画面を終了し、直前の画面に戻ります。メインメニューが表示されている場合は、このボタンを押すと、メニューが消えます。 **重要** : このボタンを 5 秒より長く押したままでいると、変更した設定が全て工場出荷時の設定に戻ります。

輝度とコントラストの調整画面は、下記のボタンを押すと表示されます。

″ ⬅ ″および″ ➡ ″ボタンを使用して調整します。15 秒以内に調整が行われなかった場合は、現在の設定が保管され、調整画面は自動的に消えます。

ボタン	項目	説明
⊖ ☼	輝度	画面の明るさを調整します。
⊖ ◑	コントラスト	画面の明るい部分と暗い部分の差を調整します。

オンスクリーン・ディスプレイ（OSD）

OSD を表示するには、↵ ボタンを押してください。画面にメニューが表示されている間に、← または → ボタンを使用して調整項目のアイコンを選択します。必要な調整アイコンが強調表示されたら、↵ ボタンを押して調整画面に入り ← および → ボタンを使用して調整を行います。

項目	ボタンの効果 ←	→	項目	ボタンの効果 ←	→
輝度			コントラスト		

項目	ボタンの効果 ←	→	項目	ボタンの効果 ←	→
幅			高さ		
水平位置			垂直位置		
高度な調整	下記 6 項目の画面の微調整を行います。				
ピンクッション			バランスした ピンクッション		
台形			回転		
平行四辺形			モアレ		

項目	ボタンの効果 ←	→	項目	ボタンの効果 ←	→
COLOR	9300K	6500K	消磁 (Demagnetize)	YES	NO
	User Color 1	User Color 2		外部からの磁気の影響による色ずれを取り除きます。YES を強調表示し、↵ ボタンを押します。 ブーンという音や画面の揺れが生じることがありますが、問題はありません。 30 分間に消磁機能を 2 回以上使用しないでください。	
	イメージ・カラーの「暖色度」を切り替えます。 9300K は白色に青っぽい影を与えるのに対し、6500K は自然光に近くなります。 微妙な色調整は U1、U2 でできます。				
リセット	YES	NO	INFORMATION	Information は、出荷時設定モードのリストおよび現在のモードを表示します。これは情報画面で調整はできません。	
	変更した設定を、工場出荷時の設定に戻します。				

項目	ボタンの効果 ← →	項目	ボタンの効果 ← →
言語	OSD の項目表示等の言語を選択できます。 ← または → ボタンを使用して、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、およびスペイン語の中から選択します。	OSD LOCK/ UNLOCK	現在の調整設定値が誤って変更されることがないように、設定値を固定することができます。同じ手順を使って、OSD 調整を随時ロック解除することができます。 ■ ロックまたはロック解除を行うには、↵ ボタンを 10 秒間以上表示がでるまで押したままにします。

詳細情報

ディスプレイ・モード

モニターが使用するディスプレイ・モードは、コンピューターによって制御されます。このため、ディスプレイ・モードの変更方法の詳細については、使用しているコンピューターの説明書を参照してください。

ディスプレイ・モードが変更されると、イメージのサイズ、位置、および形状が変わる場合があります。これは正常で、モニターの調整機能を使用すればイメージを再調整できます。

動作時のちらつきをなくすには、コンピューターとモニターの両方がサポートできる最高のリフレッシュ速度 (通常は 75 Hz 以上) を選択してください。

以下にリストされているディスプレイ・モードでは、スクリーン・イメージは製造時に最適化されています。

解像度	リフレッシュ速度	水平周波数
640 x 480	60 Hz	31.5 kHz
640 x 480	75 Hz	37.5 kHz
640 x 480	85 Hz	43.3 kHz
720 x 400	70 Hz	31.5 kHz
800 x 600	75 Hz	46.9 kHz
800 x 600	85 Hz	53.7 kHz
1024 x 768	75 Hz	60.0 kHz
1024 x 768†	85 Hz	68.7 kHz
1280 x 1024	75 Hz	80.0 kHz
1600 x 1200	65 Hz	81.3 kHz

† 推奨されるディスプレイ・モード

表 1: 出荷時設定ディスプレイ・モード

節電（パワー・マネージメント）

節電機能を有効に利用するためには、モニターをVESA ディスプレイ節電シグナル ((DPMS) 規格を実装したコンピューターと組み合わせて使用する必要があります。

節電機能は、コンピューターがユーザー定義の一定時間内にマウスもキーボードも使用されなかったことを認識した場合に起動します。以下の表に示すように、いくつかの状態があります。

ENERGY STAR(r) のパートナーである IBM は、本製品がエネルギー効率に関する ENERGY STAR(r) のガイドラインに適合していると判断しました。

一日の仕事の終わりに、または一日のうち長時間使用しないでおくことになると思われるときには必ず、モニターのスイッチを切るようお勧めします。

状態	電源インジケーター	スクリーン	回復操作	適合
オン	緑点灯	通常		
DPMS スタンバイ	緑色の点滅 (0.5 秒間隔)	ブランク	いずれかのキーを押すかマウスを移動する。	
DPMS サスペンド	緑色の点滅 (1 秒間隔)	ブランク	いずれかのキーを押すかマウスを移動する。	ENERGY STAR®
DPMS オフ	緑色の点滅 (2 秒間隔)	ブランク	いずれかのキーを押すかマウスを移動する。	ENERGY STAR® および NUTEK

‡ 画像が回復するまでに多少の遅延が生じる場合があります。

仕様

G76（タイプ－モデル 6548−x1x）カラー・モニターは、表示可能イメージ・サイズ 16.0 インチ（406.4 mm）の 17 インチ CRT を使用しています。

寸法	幅： 奥行き： 高さ：	426 mm 434 mm 433 mm
傾斜 / 回転 スタンド	前方傾斜： 後方傾斜： 回転： 右回り： 左回り：	− 4° + 10° + 90° − 230°
イメージ	最大高： 最大幅： ドット・ピッチ：	244 mm 325 mm 0.26 mm
入力電源	入力電圧： 最大所要電流：	90 − 264 Vac, 50 / 60 ア 3 Hz 120 Vac で 1.4A
電力消費 通常）	通常動作： DPMS スタンバイ： DPMS サスペンド： DPMS オフ：	90 W 70 W 15 W 3 W

重量		40.7 lb. (18.5 Kg)
ビデオ入力	入力シグナル 水平解像度： 垂直解像度： クロック速度：	アナログ・ダイレクト・ドライブ， 75W オーム 0−0.7v 1600 pels (最大) 1200 ライン (最大) 180 Mpel/ 秒
通信	VESA DDC	1 / 2B / 2Bi
同期範囲	水平周波数： 垂直周波数：	30 kHz − 86 kHz 50 Hz − 160 Hz
環境	温度： 動作時： 保管時： 搬送時： 湿度： 動作時： 保管時： 搬送時：	 0 〜 40 ℃ −20 〜 45 ℃ −40 〜 65 ℃ 10 〜 80% 5 〜 95% 5 〜 95%

故障かな？と思ったら

モニターの使用中に何か問題があった場合、お客様ご自身で問題を解決できることがあります。販売店や IBM に連絡する前に、その問題に該当する推奨処置を行ってください。

問 題	*考えられる原因*	*推奨処置*	*参照ページ*
スクリーンに何も表示されず、電源インジケーターはオフ。	モニターの電源が入っていない。	·電源コンセントとモニターのスイッチが両方ともオンになっていることを確認します。 ·電源コードがモニターと電源コンセントにしっかり接続されていることを確認します。 ·電源コードのプラグに取り外し可能なヒューズがある場合は、ヒューズを交換します。 ·別の電源コードで試してみます。 ·別の電源コンセントで試してみます。	2 ページの「モニターの接続」
スクリーンに何も表示されず、電源インジケーターは緑の点灯。	輝度とコントラストが低すぎる。	·輝度とコントラストを調整します。	4 ページからの「画面の調整」

問 題	考えられる原因	推奨処置	参照ページ
スクリーンに何も表示されず、電源インジケーターは 0.5 秒毎に緑色の点滅。	モニターが節電機能のスタンバイの状態になっている。	·いずれかのキーボードのキーを押すかマウスを動かして、動作を回復します。 ·コンピューターの節電機能ソフトウェアを確認します。	11 ページの「節電（パワー・マネージメント）」
画面がブランクで、電源インディケーターが緑色で 0.3 秒ごとに点滅。	コンピューターの表示モードが、モニターの範囲から外れている。	·コンピューターを再構成して、サポートされている表示モードを使用します。	10 ページの「詳細情報」
画面がブランクで、電源インディケーターが緑色で 1 ～ 2 秒ごとに点滅。	モニターが節電 (パワー・マネージメント) のサスペンドまたはオフの状態にある。	·いずれかのキーボードのキーを押すか、マウスを動かして動作を回復します。 ·コンピューターにある節電 (パワー・マネージメント) ソフトウェアを確認します。	11 ページの「節電（パワー・マネージメント）」
画面に「Check Signal Cable (信号ケーブルをチェックしてください)」と表示される。	モニターがビデオ信号を受信していない。	·信号ケーブルがコンピューターとモニターにしっかりと接続されているかチェックします。 ·信号ケーブル・コネクターでピンが曲がっていないか確認します。	2 ページの「モニターの接続」

問 題	考えられる原因	推奨処置	参照ページ
画像がちらついて見える。	モニターがインターレース・モードまたはリフレッシュ速度の低いディスプレイ・モードで動作している。	·最低でも 75 Hz のリフレッシュ速度で、ノンインターレース・ディスプレイ・モードを使用するようにコンピューターを構成し直します。	10 ページの「詳細情報」
	モニターがそばにある電気機器から干渉を受けている場合があります。	·デスクの蛍光灯などの磁界を発生する装置をモニターから離します。	
イメージが変色して見える。	モニターがそばにある電気機器から干渉を受けている場合があります。	·磁界を発生する機器 (例 : サブ・ウーファー付きスピーカー) をモニターから離します。	
		·他のモニターに近づけて設置する場合は、少なくとも 150mm (6 インチ) 離すことをおすすめします。	
	モニターの構成部品が磁化した。	·モニターを消磁します。	4 ページの「画面の調整」
		·カラーの設定を調整します。	4 ページの「画面の調整」

モニターの自己診断

モニターは、信号ケーブルが存在するか継続的にチェックしています。ケーブルが抜かれるようなことがあると、モニターは縁が赤い白いボックスを表示し、そこに「No Connection! Check Signal Cable.（接続がありません。信号ケーブルをチェックしてください。）」という文字が示されます。この画面が表示される場合は、モニターは正しく作動しています。この画面が表示されず、すべてのトラブルシューティング処置を実行しても問題が解消されない場合は、それ以上のヘルプについては、IBM 特約店 / 販売店または IBM HELPCENTER にお問い合わせください。

問題をユーザー自身で解決できない場合は、お買い上げの販売業者、販売店、またはその他の IBM 特約店へご連絡ください。

ご連絡の前に、以下の情報をできるだけ多くご用意ください。

1. モニター背面のラベルに記載されているモデル番号とシリアル番号
2. ご購入時の領収書
3. 問題の説明
4. コンピューターのタイプとモデル
5. システム構成（取り付けられているハードウェアなど）
6. システム BIOS のバージョン番号
7. オペレーティング・システムとバージョン番号
8. デバイス・ドライバーのバージョン番号

可能ならば、コンピューター・システムのそばでご連絡いただくと、テクニカル・サポート担当員が電話中に問題を調べることができます。